

2010年9月15日
株式会社ほっとステーション

各位

「LET'S 倶楽部」が「高齢者住宅新聞」で紹介されました。

「高齢者住宅新聞」9月15日号1面にて「リハビリ特化デイのFC開始」というタイトルで弊社介護事業「LET'S 倶楽部」が紹介されました。
次ページに紙面を掲載しておりますのでぜひご一読願います。

補足

記事内にある「FC加盟料」とは事業所設計等の初期固定費+パソコンシステム費等を含めた「初期投資額」を指しますので、ご理解のほどよろしく願います。

以上

2010年(平成22年)
9月15日 第155号
毎月3回 5・15・25日発行

高齢者住宅新聞

発行本
TE
発行年間



▲9月に開業した直営店の外観

「LET'S倶楽部」を開設し、介護事業に参入した。「ドイツのトレーニングセラピー用マシンなどの安全性を定める認証を取得した」（ほっとステーション）

リハビリ特化デイのFC開始

ほっとステーション 2年で150店目標

インターネットカフェを全国で約40店舗展開するほっとステーション（東京都品川区）は9月、千葉県船橋市を对象に1回3時間半、1日、千葉県船橋市を对象に1回3時間半、午前・午後の2交替制でリハビリ特化型デイサービスセンターを開設する。定員は1回15人、1「LET'S倶楽部」を開設し、介護事業に参入した。ドイツのトレーニングセラピー用マシンなどの安全性を定める認証を取得した（ほっとステーション）

療養病床転換先 6割が未定

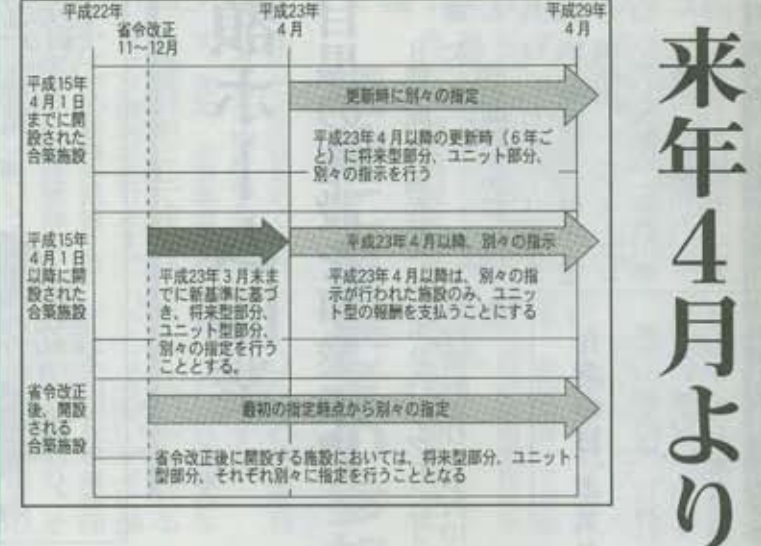
「12年報酬改定結果見て判断」

厚生労働省は9月8日、療養病床を有する全国の医療機関を対象に行っている、医療療養病床が最も多いが22%に過ぎないが、医療療養病床（現状維持）が最も多く71%、13%が「未定」と人保健施設は13%。

同社では、今後この盟を呼びかけていく考えだ。「LET'S倶楽部」をフランチャイズ展開し、「食事や入浴サービスを2年間で150店舗体制で開設できます。エレベーターがあればビルの上層部というイメージが少なくないため、一般用等別途」。

多床室と個室、別

来年4月より実施予定



厚労省では、ユニット施設の介護職員が別々にケアを「居宅での生活に近い日常の生活の中でケアを行うこと、すなわち生活単位と介護単位を一致させたケアを行うこと」が特徴として挙げている。今回の別施設としての指定方針は、そのユニットケアの考え方を踏まえた上で、よりそれに近い形態のケアを提供するのが狙いだ。

別施設の指定となれば、入居者のケアは、従来型ユニット型それぞれ、なご、これらの点について、

また、設備については、居室・共同生活室・洗面設備・トイレ以外は、サービス提供に支障がなければ従来部分・ユニット部分の併用を認める。

また、設備については、6年1月に県が「住宅の供給主体としての公社の役割は終了した」と考えられる。また、公社という組織形態で住宅管理事業を継続する必要性も乏しくなっている」との理由が

神奈川県住宅供給公社（以下、県公社）／神奈川県横浜市中区は9月3日、2015年4月1日付けでの民営株式会社化を行うと発表した。住宅供給公社の民営化は全国でも初のケースとなる。

県公社については、2006年1月に県が「住宅の供給主体としての公社の役割は終了した」と考えられる。また、公社という組織形態で住宅管理事業を継続する必要性も乏しくなっている」との理由が

神奈川県住宅供給公社 2015年4月株式会社化

高年齢者住宅